

年度途中の保育士需要に係る現状と考えられる改善策

1 現状

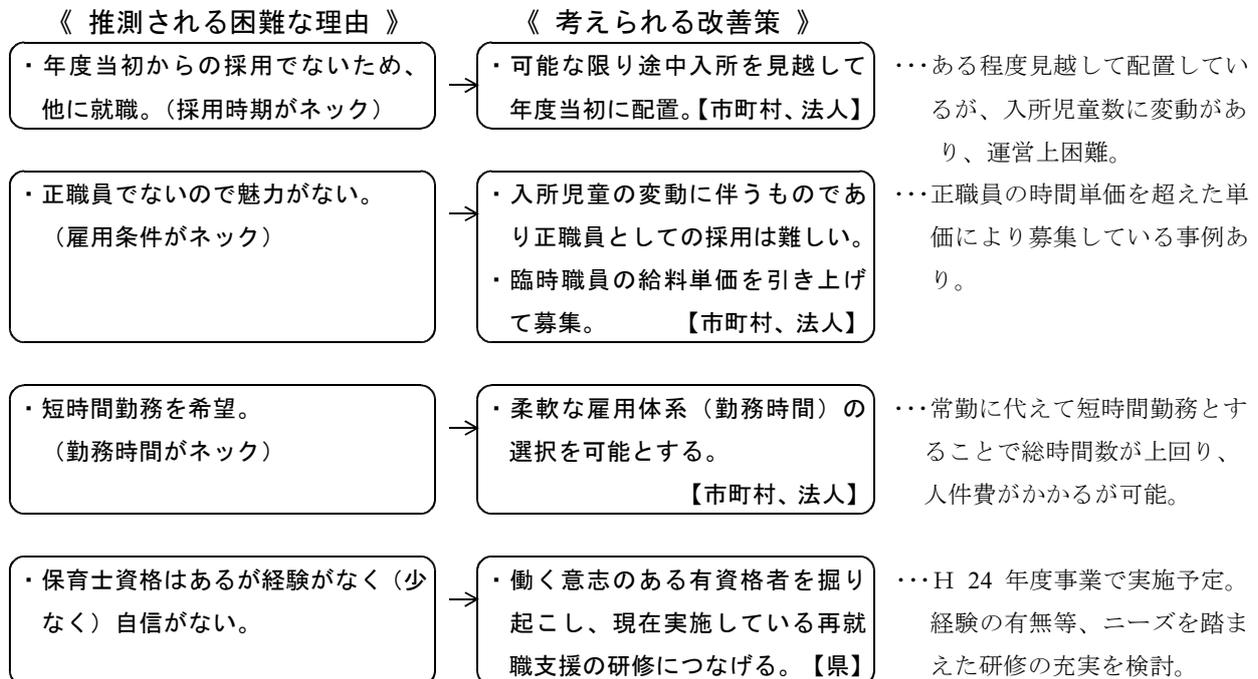
○H20年度途中の保育所入所児童数；0歳児を中心に1,307人増
15,690人（H20.4月）⇒16,997人（H21.3月）

○定期採用・中途採用の状況（H20年度；H21県調査）



- ・採用される保育士の約2割が年度途中の非正規雇用。
- ・途中入所児童の受入のほか、正職員の産休・育休・病休代替のため、年度途中に臨時、パート職員を募集するが、市町村では必要な人員の確保が難しい状況。

2 推測される年度途中の保育士確保が困難な理由と改善策



- ・年度途中の保育士需要を見越し、必要となる保育士を養成の対象にすることは、採用時期が異なることで、結果として卒業時に就職できない、或いは他職種へ流れる恐れもある。
- ・年度途中の保育士需要に対しては、保育士（新卒）の養成とは別に考えるべきではないか。例えば、働く意志のある有資格者の掘り起こしや、市町村、法人による雇用条件の改善等により対処していくことが考えられる。